

## 国立大学法人筑波大学長の業績評価結果

### 1 目的

国立大学法人筑波大学学長の業績評価に関する要項（平成27年3月18日学長選考会議決定）に基づき、学長選考会議は、監事との連携協力のもとで年に一度、学長の業績評価を実施する。

### 2 日時等

- (1) 日時：令和3年10月26日（水）15時45分～17時20分
- (2) 場所：学生会館320室（東京都千代田区神田錦町3-28）
- (3) 方法：学長からプレゼンテーションを実施し、学長選考会議各委員との質疑応答による対話と討論を実施する。その後、学長選考会議において業績評価結果の取りまとめ審議を行い、評価を決定する。

### 3 プレゼンテーション内容

学長から、「建学の理念の残された課題：固定化された社会の転換と社会とのエンゲージメント」と題して、18歳人口の急激な減少、新型コロナウイルス等の地球規模課題と世界の様々な動き、大学を取り巻く状況を踏まえて指定国立大学の指定について説明のあった後、教育、研究及び社会貢献の現況について以下のとおり具体的な説明が行われた。概要は以下のとおりである。

#### (1) 教育について

- ① 国際教育の拡充、教育の国際展開（Campus-in-Campus、海外教育研究ユニット招致、マレーシア海外分校等）
- ② 教学マネジメントの充実～教育の質保証～
- ③ 学士課程における数理・データサイエンス教育の拡充
- ④ 学士課程の入学者選抜における総合選抜の導入
- ⑤ 学際教育の拡充（チュートリアル教育、大学院一組織化）
- ⑥ 大学院学生への経済支援

#### (2) 研究について

- ① 論文数の増加と質の向上
- ② 研究戦略イニシアティブ推進機構の設置
- ③ 研究センター化の実例：西アジア文明研究センターの設立
- ④ 微生物サステナビリティ研究センターの展開
- ⑤ 若手研究者の研究力強化（国際テニュアトラック制度の拡充）
- ⑥ 新型コロナウイルス緊急対策のための大学「知」活用プログラム
- ⑦ 民間との共同研究の受入増加
- ⑧ 復興庁の福島浜通り地域の国際教育研究拠点に関する有識者会議参加
- ⑨ デジタルサイエンス分野における協働研究構想（デジタルイノベーション推進機構の設置）

#### (3) 社会との繋がりについて

- ① 国際産学連携の強化と共同研究受入額の増加
- ② R&Dセンター～外部資金による自律的運営～
- ③ 筑波大学スタートアップ・エコシステム

- ④ 卒業生とのオンライン交流会、学生への食糧支援事業活動
- ⑤ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック、筑波会議 2021 の開催

#### (4) マネジメントについて

- ① 筑波大学の Top1%論文数順位・支出の年成長率順位
- ② 財源の多様化に向けた取り組み
- ③ 人事戦略フォローアップ

### 4 学長と学長選考会議委員との主な質疑内容

学長によるプレゼンテーション後、学長と委員との間で、以下の内容について質疑応答が行われた。

- ① 海外大学との関係における筑波大学のプレゼンスの状況について
- ② 学際教育の拡充に伴う教員組織の課題について
- ③ 教学マネジメント室における教育の質保証について
- ④ 学生の教育の評価指標の考え方について
- ⑤ 大学のマネジメント・経営面におけるサクセッションプランについて
- ⑥ 今後の文系の更なる発展について
- ⑦ 国際化における学生の人材育成について
- ⑧ Campus-in-Campus の今後の改善について
- ⑨ 令和 2 年度附属学校の業績と今後の在り方について
- ⑩ 筑波大学の国際化の状況について

### 5 学長選考会議委員からの意見・要望

永田学長は、国立大学法人筑波大学長として、そして、一般社団法人国立大学協会会長として、国立大学を取り巻く様々な状況を踏まえ、高等教育機関である大学が果たすべき役割を念頭に本学の運営を行い、強いリーダーシップのもとで教育・研究・経営の各分野において改革を進めており、企画・経営・実践すべての面で能力が高く、大変評価できる学長である。大学の教育研究分野については、理系・文系のバランスにも留意した更なる発展を期待する。一方、様々な取り組みを進めるにあたっては、引き続き、学内構成員の業務負担感の軽減や一体感の醸成、更には学長の実務サポート体制の充実について、フォローアップに努めていただきたい。また、サステナビリティの観点からは、今後に向けて、大学の経営・マネジメントに係るサクセッションプランを進めることについてより一層重視していただきたい。

### 6 業績評価

学長選考会議は、学長のプレゼンテーション及び委員との質疑応答による対話と討論を踏まえ、今回の評価項目である当該年度における取組・進捗状況、学長所信の状況等を総合的にかつ慎重に検討した結果、順調かつ着実に筑波大学を大きく発展させていると判断する。

### 7 評価結果の公表

業績評価結果については、本学のホームページに公表し、周知を行うものとする。

以上